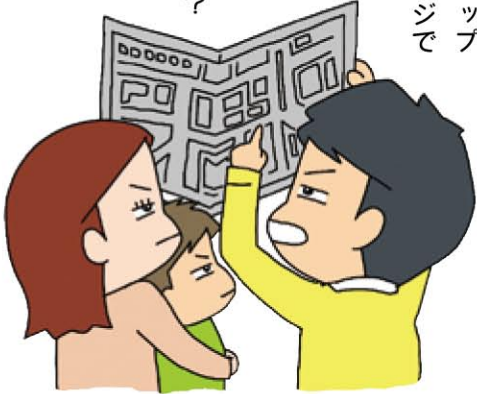


家族の命を守るために〜風水害への備え〜

近年、全国各地で集中豪雨や台風による川のはん濫や土砂崩れなどが起き、多くの方が犠牲になっています。自然は気まぐれ、災害は都合よくあなたを避けて通りません。風水害や土砂災害からあなたの命を守るために、普段どのような準備をしたらよいのか、また、災害時にはどのように行動したらよいのか、知っておきましょう。

日頃の準備が大事

- 断水や停電に備え、非常用品等を準備し、時々点検しましょう。(ヘルメット、防災ずきん、懐中電灯、ロウソク、ライター、マッチ、水、食料、コンロ、固形燃料、救急医薬品など)
- テレビやラジオなどの気象情報に注意しましょう。
- 家で強風に弱いところはありますか？(屋根、窓、塀、アンテナなど)
- わが家の防災会議を開きましょう。
- 避難場所と安全な経路を確認。**
- 災害時、家族がそれぞれどういう行動をとるか、また、家族がばらばらになっているときどこで会うかなどを**日頃からよく話し合おう。**
- それぞれの市町村では、洪水や土砂災害、津波など様々な被害を想定した調査が進められています。市町村のハザードマップや県のホームページで危険箇所を確認しましょう。
- 自宅や学校、職場の近くに危険が潜んでいませんか？



風や雨が強くなったら



- 風の強いときは絶対に外に出ないようにしましょう。
- 過去の災害で、被害者の多くは屋外で被害を受けています。風は一旦おさまったように見えても突然強風が吹き出すことも。また、飛来物により窓ガラスが破損することもあるので、窓に近寄らない。
- 強風で家の一部が破損しても、無理に修理せず、家の中の安全な場所に避難。
- 大雨注意報が出たら心の準備。**
- 大雨警報が出たら避難の準備。**
- 土砂災害警戒情報が出たら、いつでも避難ができるようにしましょう。**

ためらわずに避難する

- 「何もなくて良かったね」避難は危険を回避する最大の防衛手段です。空振りをしてわずに、異常に気付いたら**自ら率先して避難を始めましょう。**重要なのは、災害が起きたときに確実にあなたが助かることです。
- 市町村からの**避難勧告・指示に従い、すばやく避難**しましょう。
- ブレーカー、ガスの元栓を切り、火の始末。
- ヘルメットや防災ずきん等で身の安全を図り、持ち物は必要最小限で。
- 道路に水が溜まっている時は、溝や穴がないか棒で確認しながら移動。
- 避難路、避難先では勝手な判断や行動をせず、誘導員など責任者の指示に従う。

声をかける

- 災害時に援助が必要な人がいます。**民生委員等とも協力しながら、避難の手助けが必要な人と日頃から声を掛け合うことが大切です。
- 町内会などで**自主防災組織**をつくり、地域住民がお互い助け合い、避難誘導や救助を行うことが**被害をより少なくすることにつながります。**
- 各市町村や町内会が行う防災訓練に積極的に参加し、いざという時の行動を体験しましょう。



多くの住民が参加した避難訓練の様子

6月は土砂災害防止月間

- 全国では毎年千件近くの土砂災害が発生しています。昨年は特別養護老人ホームが土石流の直撃を受け、7名が亡くなるという痛ましい災害がありました。
 - 青森県では、気象台と連携して**土砂災害警戒情報**を発表しています。この情報は、大雨警報よりもさらに土砂災害の恐れが高まったときに発表され、次の方法で確認することができます。
 - テレビのニュース速報
 - 青森県庁ホームページ
 - 携帯電話メール通知サービス
- 下のQRコードからアクセスしてメールアドレスを登録すると、土砂災害警戒情報を受け取ることができます。



詳しくは、県庁ホームページから
土砂災害防止月間 検索

- ◆青森県「防災ホームページ」 <http://www.bousai.pref.aomori.jp/>
- ◆内閣府「みんなで防災のページ」 <http://www.bousai.go.jp/minna/>
- ◆総務省消防庁「防災・危機管理 e-カレッジ」 <http://www.e-college.fdma.go.jp/college/college.html>